

令和8年度全国学力・学習状況調査における
新潟県立中等教育学校の結果について

1 教科に関する調査結果

国語・数学の平均正答率及び英語3技能（聞くこと、読むこと、書くこと）の平均 IRT スコアは、以下のとおりである。

	国語	数学	英語
新潟県立中等教育学校(A)	73%	71%	576
新潟県公立中学校・中等教育学校(B)	62%	54%	482
全国公立中学校・中等教育学校(C)	63.9%	57.0%	499

※ 平均正答率における細かい桁の微小な差異は、学力の実質的な違いを示すものではないため、文部科学省からは、都道府県の結果は小数点以下を四捨五入した整数値で結果が提供されている。

なお、県立中等教育学校の平均正答率においても、文部科学省と同様に整数値で結果を示している。

※ 英語は、平均 IRT スコアを示している。IRT とは、国際的な学力調査や英語資格・検定試験で採用されているテスト理論であり、異なる問題から構成される試験・調査の結果を同じ尺度で比較するためのものである。

- 新潟県立中等教育学校(A)は、新潟県公立中学校・中等教育学校(B)と比べて、国語で 11 ポイント、数学で 17 ポイント、英語で 94 ポイント、それぞれ上回っている。

2 質問調査結果のうち特徴的な項目

- (1) 「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）」という質問に対して、「2時間以上」と回答した生徒の割合

新潟県立中等教育学校	新潟県公立中学校・中等教育学校
50.3%	26.0%

- ◎ 新潟県立中等教育学校は、新潟県公立中学校・中等教育学校と比べて、24.3 ポイント高くなっている。

- (2) 「今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか」、「今回の数学の問題では、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか」という質問に対して、「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答した生徒の割合

教科	新潟県立中等教育学校	新潟県公立中学校・中等教育学校
国語	86.4%	72.4%
数学	70.7%	56.8%

- ◎ 新潟県立中等教育学校は、新潟県公立中学校・中等教育学校と比べて、国語で 14.0 ポイント、数学で 13.9 ポイント、それぞれ高くなっている。

- (3) 「普段（月曜日から金曜日）、1 日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等（以下、「スマートフォン等」）で SNS や動画視聴などをしますか（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く）。」という質問に対して、「2 時間以上」と回答した生徒の割合

新潟県立中等教育学校	新潟県公立中学校・中等教育学校
71.5%	80.0%

- ◎ 新潟県立中等教育学校は、新潟県公立中学校・中等教育学校と比べて、8.5 ポイント低くなっている。

3 結果の分析と今後の対応

- ・ 各学校の丁寧な指導と生徒の努力により、一定の成果があらわれている。
- ・ 家庭学習習慣を身につけており、学習内容の定着を図ることができている。
- ・ 問題に対して自分で考え、解決に向けて取り組む姿勢があらわれている。
- ・ 平日に SNS や動画視聴に 2 時間以上費やす生徒の割合は県内中学生平均を下回ったものの、7 割を超える生徒が長時間利用している状況にある。情報端末の適切な利用や時間管理について、学校と家庭が連携しながら継続的に指導していく必要がある。
- ・ 引き続き、学習指導要領の趣旨を踏まえ、ICT も活用して、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させるとともに、探究的な学びを推進し、思考力・判断力・表現力等を育成することができるよう、指導の工夫を図っていく。